

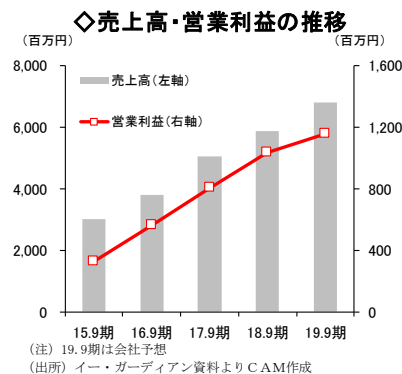
企業ニュース **イー・ガーディアン**

(東証1部：6050) <https://www.e-guardian.co.jp/>

作成者：村上大志

インターネットの総合セキュリティカンパニーを目指す

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）・ブログ等のソーシャルメディアやネット掲示板の投稿監視、ゲームのユーザーサポートが主力のネットセキュリティ企業。投稿データや利用者属性の分析からマーケティングに利用可能な情報の提供、コンサルティング、デバッグ（不具合修正）、セキュリティ診断も行う。強みは、24時間365日1,000名を超える専門のオペレーターによる厳格に設定された基準やマニュアルに沿ったオペレーション力と、人工知能型画像認識システムによる監視システムを構築している点。人間の対応力と人工知能による効率性を実現し、低コストで高品質なサービスを提供している。19.9期・第2四半期業務別売上高はソーシャルサポート36%、ゲームサポート40%、アド・プロセス13%、その他11%。



本社移転費用を吸収し2桁の営業増益を達成

19.9期・第2四半期累計（10-3月）の連結業績は、売上高が32億1,600万円、前年同期比10%増、営業利益が5億7,600万円、同11%増。本社移転費用を吸収し、2桁の営業増益を達成した。ソーシャルサポートはECサイト向けの監視や分析サービス、仮想通貨向けの脆弱性診断や本人認証サービスなどが好調だった。ゲームサポートは、日本市場に参入する中国や韓国系ゲーム企業向け多言語カスタマーサポートが伸長した。

19.9期の会社計画は、売上高が68億100万円、前期比15%増、営業利益が11億5,900万円、同12%増。ECやフィンテックの進展でスマホ決済や仮想通貨などが普及する中、当社が展開する本人認証サービスや不正取引の監視、カスタマーサポートの需要は拡大傾向にある。国内ソーシャルゲーム市場が踊り場を迎えており先行きに不透明感が残るが、海外ゲーム企業向けサービスは好調で過度な懸念は必要ないだろう。また、拡大する海外ゲーム市場の取り込みに注力しており、フィリピンを拠点に海外展開を加速させている。アド・プロセスも2桁成長が続いており、会社計画の達成が見込めよう。

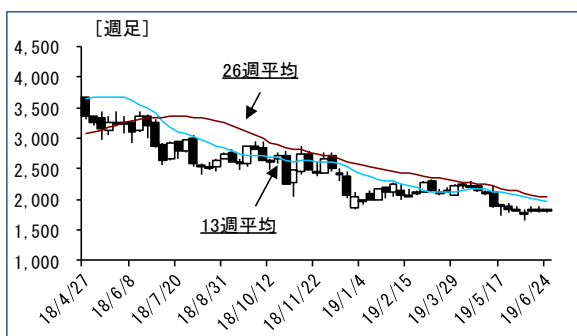
[株価動向・投資判断]

I o Tの進展で当社のセキュリティサービスへの需要は高まることが予想され、持続的な成長が期待できよう。

<6050 イーガーディ 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は日経予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.9	5,067 (33)	811 (44)	840 (52)	572 (63)	56.6	6.00
18.9	5,902 (16)	1,039 (28)	1,049 (25)	736 (29)	72.1	8.00
19.9 予	6,801 (15)	1,159 (12)	1,179 (12)	814 (11)	80.4	8.00



[主要株価指標]	(売買単位：100株)
株価(2019/6/24)	1,817 円
年初来高値(高値日)	2,330 円(19/3/4)
同 安値(安値日)	1,662 円(19/6/4)
予想P E R(19.9予)	22.6 倍
1株株主資本(PBR算出用)	313.3 円
P B R	5.80 倍
予想配当利回り	0.44 %
(1株当たり配当金8.00円)	
R O E(18.9)	28.9 %
発行済み株式数	1,041 万株